

いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局
西表森林環境保全ふれあいセンター
〒907-0004
石垣市字登野城55-4 石垣地方合同庁舎内
TEL: 0980-88-0747 FAX: 0980-83-7108
URL: <http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>

3年目の新年を迎えて

平成16年4月に西表森林環境保全ふれあいセンターが発足し、地元の皆様方に支えられながら3年目の新年を迎えることができました。

さて、去年は台風13号による被害が各地で発生し、モニタリング設定箇所の被害を懸念したところですが、大きな被害もなく安堵いたしました。このモニタリングの結果については、亜熱帯森林林業研究発表会（2課題） 森林の流域管理システム推進発表大会（1課題） 国有林野事業業務研究発表会（1課題）において発表する場を得られ、課題毎に関係者（沖縄森林管理署、竹富町役場）と共同発表致しました。今年も昨年同様、地元の方々のご協力を頂きながら森林環境教育等の諸活動に取り組んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。



（11月16日九州森林管理局で発表）

西表島におけるモニタリング結果

平成18年12月実施のモニタリング結果についての概要を掲載します。

（船浦ニッパヤシ植物群落保護林樹勢回復試験）

設定から1年9ヶ月が経過し、ニッパヤシの葉数はオヒルギ等の伐採前よりも増加しています。一方、葉の高さ（長さ）は、平均値の推移では伐採後に増加し、その後減少傾向にあります。葉数の増加はオヒルギの伐採による光環境の改善によるものと判断されますが、葉の高さについては今後の経過を観察していく必要があります。

（仲間川マングローブ林のヒルギ類の調査）

コロラード設定後、今回、1年目のモニタリング調査を実施しました。この1年間でヒルギ類は、本数で9%減少しましたが、胸高直径及び樹高とも軽微ながら増加という結果になりました。川沿いではヒルギ類が半数以上減少している箇所もあります。



（巨樹巨木オヒルギの樹勢回復試験）

昨年９月の台風１３号による被害を懸念しておりましたが、巨樹巨木オヒルギへの被害は見られませんでした。今回は、地盤高と開空度を調査しましたが、樹勢回復措置後における地盤高、開空度に変化は見られませんでした。巨樹巨木オヒルギの下方の枝からも新葉が発生しており幾分樹勢が回復しているように見受けられます。

（ヒナイ川の入込み者調査）

１２月８日に実施し、当日はカヌー等により１５組、７８名（ガイド含む）の入り込みがありました。この内、修学旅行が４組あり、八重山への修学旅行生の増加を裏付けているようです。また、国内だけでなく海外（アメリカ、ロシア）からも２組の入り込みがありました。この入り込み調査に際しましては、カヌー組合をはじめ多くの方々のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今後ともご協力をお願いいたします。



パンフレット作成

当ふれあいセンターには今まで日本語版のパンフレットがありましたが、今回、英語訳を付けたパンフレットを作成しました。

***** お世話になりました *****

１２月１日付で１名が転勤しました。

元自然再生指導官 野邊 忠司（担当：自然再生）

転勤先：九州森林管理局（熊本市）総務部 総務課 課長補佐



西表島の森林は、かつて先島地域の木材供給地として盛んに伐採が行われ、現在の森林は２次林、３次林となっておりますが、亜熱帯降雨林帯に属し、高温多雨地帯であるため植生回復の進度が速く、植生は順調に回復しつつあります。しかし、仲間川、ヒナイ川周辺などで踏圧などの人為的影響を受けている箇所も見受けられることから、今後モニタリングを継続しながら何らかの対策を講じることが必要と考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。